

2024年4月24日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

#### <概要>

研究課題名	前立腺がん治療におけるダロルタミド、ドセタキセルおよびカバジタキセルの使用実態調査
対 象	2023年3月～2024年2月の間に、兵庫県立尼崎総合医療センター泌尿器科において前立腺がんの治療として、ダロルタミド、ドセタキセルおよびカバジタキセルを使用した患者さん。
研究期間	承認日から2025年3月31日までを予定しています。
研究目的	前立腺がんにおけるダロルタミド、ドセタキセルおよびカバジタキセルの有効性、安全性を検討する。
利用又は提供を開始する予定日	承認日以降に試料・情報の利用・提供を開始します。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、①臨床所見：(年齢、性別、身長、体重、病歴・治療歴に関する情報(診断名、既往歴)、②：血液所見(CBC、白血球分画、肝腎機能、心機能)、心電図、心エコー検査、③：がん化学療法治療歴(抗がん剤投与期間・投与量、抗がん剤の支持療法、併用薬)、治療期間中の感染状況、感染への対応、治療反応性、副作用の種類・症状・Grade、予後等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77 TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001 研究責任者：薬剤部 永井浩章